

放課後子ども教室に関するアンケート調査【スタッフ用】

◆それぞれの質問について、枠の中からあてはまるものに○をつけてください。

【質問1】 あなたの年齢について、教えてください。

1. 20～30代 2. 40～50代 3. 60～70代 4. 80代以上

【質問2】 あなたは男性ですか、女性ですか。

1. 男性 2. 女性

【質問3】 あなたの住んでいる地区はどこですか。

1. 猪苗代 2. 翁島 3. 千里 4. 月輪 5. 長瀬 6. 吾妻 7. その他

【質問4】 放課後子ども教室に関わっていただいた中で、次の7項目についてどのように感じていますか。一番近いと思う番号に○をつけてください。

	とても思う	思わない
1. 自分自身も楽しく活動している	5	1
2. 活動を通していろいろ学ぶ機会が増えた	5	1
3. 自分の趣味特技を生かすことができている	5	1
4. 子ども達から元気をもたらしている	5	1
5. 放課後子ども教室の活動に満足している	5	1
6. 子ども達やいろいろな人と関わっている	5	1
7. 放課後子ども教室は有意義な活動である	5	1

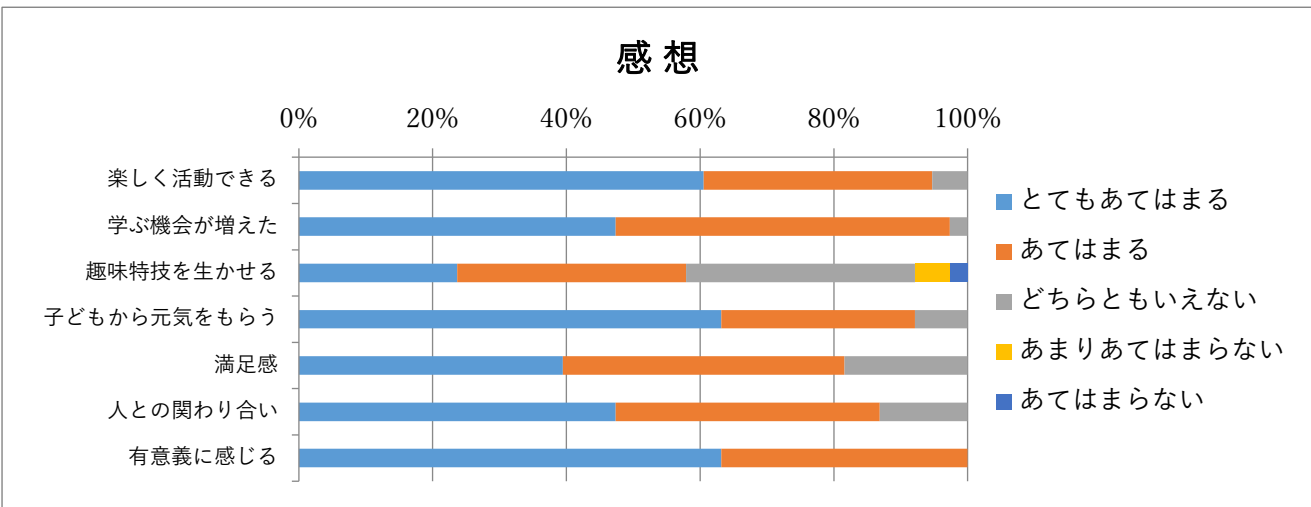
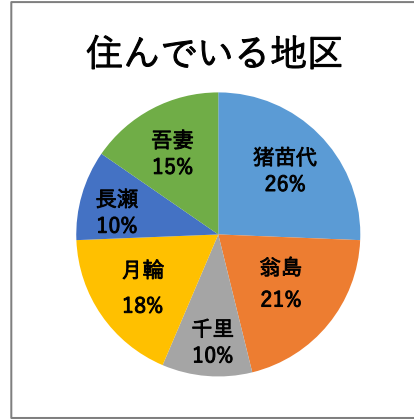
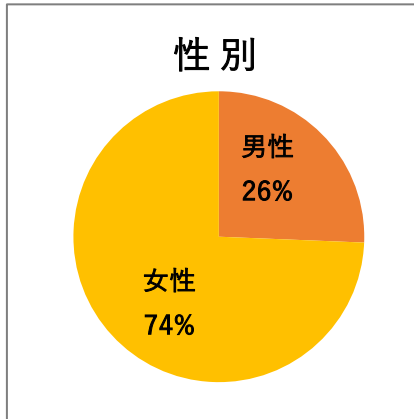
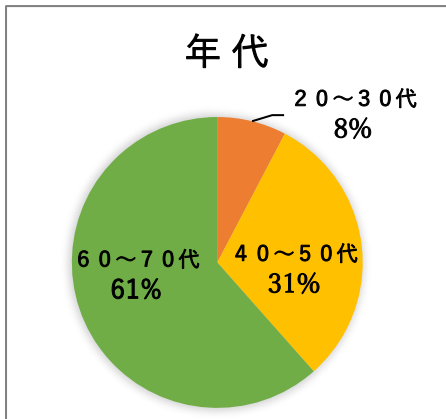
【質問5】 放課後子ども教室に参加した子ども達の様子はいかがでしたか。また、何か良い変化は見られましたか。

【質問6】 放課後子ども教室に参加したことによって、あなた自身の気持ちや暮らし方など何か良い変化は見られましたか。

【質問7】 放課後子ども教室がさらに充実するために、必要なことや大切なことは何だと思えますか。

★アンケートにご協力ありがとうございました。同封の返信用封筒で郵送してください。

アンケート集計結果【スタッフ】



子どもたちについて

- ・ハンドベルでの参加の時は、子どもたちが興味津々でハンドベルに直接さわって音を出し、簡単な曲を演奏したりと楽しんでくれました。一緒に歌いながらリズムに合わせて歩いたり。とても充実した時間でしたし、子どもたちの明るい笑顔が何よりうれしいひと時でした。
- ・生活の中で学んできたことを生かそうとしている。
- ・子どもたちの元気な姿を見ることができました。とても興味を持って取り組んでいました。
- ・今年もコロナで子ども教室の回数が減ってしまいましたが、久しぶりに見る子ども達はいろいろな面で大人になっているのに驚かされました。
- ・地域や学校によって子どもたちの反応に違いがあって面白かったです。
- ・伸び伸びと楽しく参加していた。興味のある子どもは意欲を持って取り組んでいた。
- ・長年教室指導をして2年生が5年生になって大人感を知ったときがとてもうれしいです。
- ・子ども達にも不得意ものもあるようで、戸惑っている子どももみられました。
- ・名札を見て名前を呼ぶ。近づく事の第一歩と考える。数名の輪に入らない子どもへの対応を学ばなければならない。
- ・今年度は1回だけの参加でしたが、年長の子が年少の児童の面倒をよくみていると思いました。
- ・子ども達が楽しそうに活動していたと思います。
- ・楽しそうに感性豊かに行っていたと思います。
- ・毎回楽しみにして参加しているようです。またやりたいとか、今度はこんなことをしたいとか、子ども達が話すようになっています。

- ・なかなか家では体験出来ない企画が子ども達は目をキラキラさせて楽しんでいました。`もっとやりたい!、時間の問題ですが、次回もまた同じ企画とかは難しいですかね。
- ・物作りとかは何が出来上がるとか楽しみな事も見受ける。
- ・学校、教室の枠を外した場での生き生きした姿が見られます。学年を超えた活動なので、教えあったりする様子も見えます。
- ・毎回楽しみに参加しているようですね。難しい内容だと協力してみんなで取り組む様子もみられました。昨年から参加している子は率先して手伝ってくれるので有難いです。
- ・どの子どもも元気で明るくお互いに助け合う様子も見られております。
- ・ものづくりなどの講座では自分で考え工夫して作成している姿がみられました。スポーツ的な講座ではチーム対抗で競った時、自主的に友だちを応援するという様子もみられました。
- ・活動内容がキンボールだったこと、また大玉でダイナミックな動きのあるスポーツであったことで、子ども達は普段の内容と異なった活動で意欲的に活動していると指導員さんがお話しをしていました。参加した指導員や子ども達からもキンボールをもっとやってみたいとニュースポーツを知ってもらう良い機会となりました。
- ・受付の時の子ども達の表情から、とても楽しみにしていたことが伺えます。活動中もとても良い表情でした。
- ・子ども達は明るく元気が良い。昨年も感じたことだが、上級生が下級生の面倒を見る姿が多く見られることが良いと思う。また、意欲的に取り組む姿が見られること。
- ・参加している子ども達は子ども教室を楽しみにしているんだなあと思いました。
- ・楽しんでやっている様子が見られた。
- ・スポーツ等、体を動かす事は楽しくやっていたようです。お互いに教えたり、聞いたりして作って仕上げていたようです。
- ・元気がいい、真剣に取り組んでいて教えがいがある。
- ・楽しそうにやっている様です。自分も夢中になります。
- ・楽しそうでした。
- ・リズム遊び→コロナ禍で曲に合わせ十分に身体を動かせ、「楽しかった」と喜んでいる児童が多かった。
- ・花育→季節の花を知り、ポットに思いを植える楽しさを知った様子。
- ・しめ縄→伝統行事を知り、体験した充実感。ほかの児童と協力しての参加も楽しかったようです。
- ・各児童、それぞれ個性的であり未知への学びに対し一生懸命取り組んでいた。
- ・自分の意志で参加し楽しむことができている。協力しあう場であることがわかっている。
- ・上級生が下級生の面倒をみるなど、また、挨拶もきちんとすることが出来ました。
- ・やる気のある子とそうでない子とわかれていたが、最後には全員夢中になっていた。
- ・毎回楽しそうでうれしい。回数を重ねる毎に会話も増えておもしろい。
- ・楽しそう。新しいことに対してワクワクしているようでした。
- ・子ども達の笑顔が多く見られている事が多く、私もホッとした時間をすごしています。
- ・いきいきとしている。

自身について

- ・子ども教室に参加する時は前もって準備や練習等であれこれやることも多くなり、仕事もしている中でちょっと大変と思うこともありますが、自分の好きな事で子どもたちが楽しんだり、心に響くものがあると信じているので、頑張れます。私の元気の源です。
- ・日々の中で子どもと関わることで新しい発見や興味がわいて刺激をもらうことがある。
- ・子どもたちがどんなことに関心があるのか知ることがとても新鮮でした。
- ・近所の子ども達にも目を向ける事が多くなった様に思います。
- ・中ノ沢こけしのお面の絵付け体験を子ども達にさせていただきました。中ノ沢こけしの認知度が低いという事を知ることができました。一人でも多くの子どもに覚えていただく機会になって良かったと思いました。
- ・なんでも吸収する子ども達なので、大人の姿勢も見られるので、常に教える事（内容）を向上させたいと思うようになった。
- ・町内で子どもに声をかけられた時が妻に自慢できる一つです。多くの子どもを知ることが先々の宝になります。
- ・子ども達と接することで気持ちが若くなり元気がもらえます。
- ・昔遊びを通じて野外をフィールドにする事もあって良いと考えます。関わる事をおすすめしたい。
- ・児童の様子が気になるようになりました。関心を持つようになりました。
- ・自分次第で社会貢献ができることを改めて実感しました。
- ・花育の大切さなど感じました。
- ・都合がつく限り参加しました。子供たちの成長がみれて自分も体力的には疲れることがあっても、一緒にやれることがとてもうれしいことです。
- ・子どもたちの柔軟な発想力に驚いたり、笑わせてもらったり、良い刺激をもらっています。
- ・子ども達とのコミュニケーション。学校の様子など垣間見る例えば挨拶はどうか？とか……。子どもに教えられる激しい事は年齢的にも無理があるが、新しい発見等がある。
- ・工作とか子ども達と同様にどんなのが出来上がるか。
- ・子どもたちとのふれ合いで、気持ちが明るくなりました。活動した内容を高齢者サロンでも実施して喜ばれました。
- ・毎回子ども達から元気をもらっています。
- ・近所の子ども達、孫達への想いが強くなり、いろいろな子ども達の動きが孫達への関わりに参考になっております。
- ・いつも子ども達から学ぶことが多々あり、リフレッシュしています。
- ・放課後子ども教室に参加した子ども達がニュースポーツに興味を持って活動に参加していました。息を弾ませて笑顔で運動していたことから運動量も確保できていたと思われそうです。改めて対面しながらの活動の大切さを実感できました。
- ・私自身の変化は、特に感じることはありませんが、今の子どもさん達がなにか欲しているような感がありました。
- ・居住地区に小学生は1人のみ、ほとんど子ども達と接することもなく過ごしてきたが顔見知りになることで登下校時のあいさつをし、話すこともあり、地域で子どもを見守っていくということにつながるきっかけとなるように思えうれしく思う。
- ・地域では子ども達と触れ合う機会がないので、一緒に楽しんでいきます。
- ・子ども達のパワーをもらい、童心にかえった気持ちです。
- ・子ども達は元気ハツラツで、元気をもらって帰宅しています。

- ・次回できることはないか、考えながら生活しています。
- ・参加する子どもはほとんど同じだが、なかなか名前が覚えられない（年のせい）。行けばすごく楽しいんですが、行くまでがなあ～（子どもみたい）。
- ・私自身も楽しかったし、子ども達から元気をもらった。
- ・四季折々、生活の中で子ども達に伝えたいことを教室を通して体験できていることに、共有できる時間があります。
- ・日々のお出逢いの楽しさを味わっている。
- ・定められた条件のなかで何ができるのか。特にリサイクルでできるもの、地域性にあふれるもの、相談できる大人の仲間作りなど、考えている。
- ・子ども達の興味のあるものは何か、また世界のニュースなど、聞くようになりました。
- ・自分の子どもたちが成長した今、地域の子供たちと接する機会がないので、良い時間です。
- ・子どもたちが想像より素直だということがわかりました。見る目が変わったと思います。
- ・子ども教室の手伝いをさせてもらって張りが生まれています。
- ・子どもと接することで、元気をもらっている。

放課後子ども教室がさらに充実するために、必要なことや大切なことは

- ・今の子どもたちは家に帰ってから外で友達と遊ぶことがほほえないように思えます。子どもが少ないせいもあるのですが、子ども教室では友達と楽しく過ごす大切な時間にもなると思います。多方面で活躍されている先生方とのふれあい等いろいろな面で子ども達にとって大切な経験となると思います。子ども自身の世界が広がります。
- ・地域のテーマを少し取り入れられれば良かったと思いました。
- ・地元の行事や伝統事を受け継いでいってもらうために少しずつでも子ども教室で取り入れていってほしい。子ども達の興味やリーダーシップを引き出すためにも。
- ・地域の方との交流（年配の方はもちろん高校生等）を通しての体験があったらいいなと思います。
- ・地域の多くの方に触れ合ういい機会なので、帯（幅？）広い分野を取り上げてほしいと思う。子どもの興味も広がると思う。
- ・多種のスポーツ経験から将来の希望や目標を見つける事が出来ます。・・・がそのスポーツが楽しくでき満足感を得た時から始まります。そのためにさらに工夫をしていきたいです。
- ・難しいですが、今のままで良いと思います。
- ・何よりも体験ブームであるので、指導者が元気で明るくしなければならぬ。工作、昔語り、合唱等を組み合わせてバラエティさを広げる事かと思えます。
- ・児童が楽しく参加していることがみられます。続けていけることが大切。
- ・講師の人材確保。
- ・たくさんの事を体験し、子ども達の心を育てる事が大切だと思います。
- ・コロナ禍で行動も制限されることが多いので、なかなか活動が思うようにいかないことがあると思いますが、学年を超えた子ども同士のつながりを大切にしてほしいと思います。
- ・スタッフ側の事前勉強、体験。早めに分かっていけばどの様な子ども達が参加するのか（学年・特徴など）大人が楽しむ。
- ・子ども達のチームワークとかも必要だと思う。
- ・イベント的な内容から何かテーマを決めて継続的に追及できるような形になっていければと考えます。

- ・しめ縄づくり等、季節行事のものだったり、職業を意識出来るものが子ども達は取り組みやすいのかと思いました。
- ・係の方達がよく考え、準備されて実施されているので現状で十分だと思います。
- ・低学年～高学年まで参加できる時間の確保や講座の実施をできたらと思います。
- ・磐梯青少年交流の家のスタッフが放課後子ども教室に出張事業に関わることで、様々な体験の機会が提供できると思います。
- ・今の時点でもとても充実しているように思いますが・・・さらに・・・となると継続できることでしょうか。
- ・子ども達にもアンケートがあるのか不明ですが・・・。やりたいことを取り入れたり、時には親子で取り組める行事があってもいいのではないかと。また、あいさつ、後片付けなども声がけして一緒にやっていきたい。
- ・どんな事をやってみたいか、子ども達と話し合う機会があればと思います。
- ・子ども達が興味津々で参加できるような企画も必要だと思いますが、何よりも子ども達と私たちスタッフのより深い信頼関係だと思います。
- ・お手伝いが充実していていいです。
- ・子ども達の興味のあるものだったら（危険なのは除く）参加も多くなるのかなあ。
- ・子ども自身も参加して何かを作り上げることがあっても良いと思う。
- ・学校に足を運んで頂ける地域の方を増やし、コロナ禍でも有意義に楽しめたり、思い出になる活動にしたいと思います。
- ・自己の探求と自然、出逢いを大切にしてもらいたい。
- ・解放された気持ちで参加できること。
- ・情報がきちんと伝えられていること（教師・家庭・子ども同士）。
- ・児童クラブとの連携・関わる大人の情報交換。
- ・地域の方の参加と地元の企業の参加。
- ・どの程度の目標、目的かは分かりませんが、より続けるためにはその場限りにならず十分な計画と予算の充実を図ってほしい。
- ・地域の方々の参加をふやしたい。
- ・子どもたちに少しでも多くのことを体験してもらい、視野を広げること。活動の意味を取り組む大人がしっかり共通認識をもっておくこと。
- ・日本（福島・猪苗代など）の伝統工芸などにふれあえる機会や体験ができれば・・・（しめ縄作りは良かったと思いました）。
- ・今はなかなか活動できませんが、参加した子どもたちの体も心も元気になる様な活動ができれば良いと思います。